

MEIJI MURA

明治村だより Vol.78 2014 Winter



中川武新館長就任記念シンポジウム「帝国ホテルとフランク・ロイド・ライト」を開催しました!



中川武新館長

去る10月4日、聖ザビエル天主堂において、磯崎新氏、阿部幸正氏をお招きし、標記シンポジウムを開催しました。

冒頭、中川館長から、就任の挨拶ならびにシンポジウムの開催趣旨があり、建築家磯崎新氏より「帝国ホテルとフランク・ロイド・ライト」をテーマにお話をいただきました。磯崎氏の「旧帝国ホテルは「わ」風か?」という斬新な問いかけなど、多くの参加者が帝国ホテルの建築およびその設計者であるフランク・ロイド・ライトに対する認識を新たにさせられました。

続いて長年帝国ホテルの図面の整理・修理などを手掛けておられる建築家の阿部幸正氏に「帝国ホテルの実測調査と図面表現からみた建築的特質」と題して、帝国ホテル解体に際して行われた実測調査で残された図面も解体後40年以上を経て、その存在が忘れ去られそうになった中、有志とともに図面の整理、修理でご苦勞された点など、興味深くお話をいただきました。

阿部幸正氏

磯崎新氏

第四管区海上保安本部長から感謝状をいただきました

燈台記念日の11月1日、明治村の三重県庁舎2階の正庁で、第四管区海上保安本部長より、「運航援助業務に関する周知普及活動」に対して感謝状をいただきました。第四管区海上保安本部とは、平成16年から共同で燈台記念日の事業を開催しており、本年が10回目にあたることから、贈られたものです。

左から 中嶋本部長、中川館長、蟹見所長、藤田交通部長

休村日のご案内
開村時間
10:00 ~ 16:00

12月 2014年						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月 2015年						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

■ は休村日 ■ は引当休日



表紙写真：残の柿
(撮影) 水野健二

平成26年12月12日発行
「明治村だより」第78号(平成26年 冬)

発行 博物館明治村
〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地 電話 (0568) 87-0314
<http://www.meijimura.com>
製作 大日本印刷株式会社

【明治村だより】第78号発行のお祝い
発行時期 平成27年3月中旬(予定)
申込方法 「明治村だより」第78号ご希望の部及びご住所・お名前を明記の上、送料140円
送料とともに封書にてお申し込み下さい。



CONTENTS

明治村開村50周年記念 木内真太郎 ステンドグラス歴史展 …2

企画展「はつはるのえんぎもん」 ……3

明治村開村50周年記念 特別展「デザインの黎明」 ……4

冬の催しもの ……5

A La Meiji-mura ……6

語り継ぐ建築 ……7

博物館明治村 開村50周年記念 特別展「デザインの黎明」

博物館明治村は、日本が近代化の歩み
を始めた明治時代の貴重な建造物や歴史
資料を有する野外博物館として昭和四十
二年(一九六五)年三月十八日に開館し、平成
二十七年(二〇一五)年三月には開村五〇周
年を迎えます。
昭和三十年代までに、博物館明治村設立
のきっかけともなった、明治時代を象徴す
る「鹿島館」をはじめ、天災や戦災などに
より優れた近代建築が失われてしまいまし
た。しかし、その災禍を免れ救出された家
具は、幸いなことに博物館明治村に数多く
収蔵されています。
今回の展示は、それらの所蔵品の中から、
歴史の指標となる近代建築の室内空間を彩
った家具を展示し、西洋の文物がもたらさ
れた、居住空間も大きな変化を遂げた明治時代に、人々がイ
ンテリアのデザインをどのように受容し、新たなものを生
み出していったのか、その過程の一環を紹介するものです。

● 建築年/明治十六(一八八三)年
設計/ジョサイア・コンドル
鹿島館は、江戸時代の木に結んだいわゆる「不平等条
約」を改正するために建てられた社交場です。昭和十五
(一九四〇)年に取り壊されました。
● 檜葎小椅子
十九世紀半ばにイギリスで大流行した
「パルソンバックチェア」(日本名「だる
ま椅子」)の洋のフォルムに漆・蒔絵とい
う和の装飾を施した、和洋折衷の椅子。
● 竹葉葎小椅子
竹に見えするように彫刻し、漆で装束、蒔絵・螺鈿で加飾さ
れたもの。



● 建築年/明治二十一年(一八八八)年
設計/ジョサイア・コンドル
棟瓦造の本館と木造の日本館からなり、本館は日本で最初
の本格的洋風宮廷建築。有栖川宮邸洋館は昭和二十年五月
の東京大空襲で焼失し、現存していません。
● 飾り台
表面彫刻の周りで使用。着席時の彫刻がなされている。
● 卓板
● 飾り台
五田にあった精糖会社で製作されたもの。
● 折り畳み小椅子
昭憲皇太后御料用。風流と小巻紋
の装飾がなされている。
● 藤曲小椅子
昭憲皇太后御料用。曲線がなさ
れている。
● 飾り台
表面彫刻の周りで使用。彫刻で風
流・桐が表飾されているもの。



● 長椅子
フランス製。椅子
の背の中央の飾り
に有栖川宮家の家
紋がある。
● 折花
● 檜花
● 藤花
● 竹花



● 建築年/大正三(一九一四)年 設計/阪野金吾
明治四十二(一九〇九)年三月に竣工し、十六年余りに及ぶ工
事の末、竣工しました。南北に三三〇メート
ルを超える長大な建物で、中央部は皇宮用の
出入口が設けられ、一般客の乗り場は南側
降り場は北側に区別されていました。
● お召用掛椅子
昭和十二(一九三三)年製作。
東京製貨賞で受賞された
た内製工用椅子。
● お召用掛椅子
昭和十五(一九四〇)年
製作。東京製貨賞で使
用されたもの。
● 漆製小椅子
● 藤製小椅子
● 竹製小椅子



● 建築年/明治四十二(一九〇九)年 設計/片山重雄
大正天皇の皇太子時代のお住まいとして建てられた、日本
における本格的洋風宮廷建築。平成二十一年(二〇〇九)年に
近代建築としては初めて回廊に指定されました。
● 藤花
● 竹花
● 檜花
● 漆製小椅子
● 藤製小椅子
● 竹製小椅子



冬の催しもの

HAPPY! ニューイヤー

- 日本各地の門松・しめ縄めぐり
開催日: 1月1日(水・祝)~25日(日)
会場: 正門、東松家住宅、宇治山田郵便局ほか
- 日本のおそび体験
屏掛けや竹馬、羽根突きなど言葉が楽しい遊びで、
心も体もほかほか
開催日: 1月1日(水・祝)~4日(日)
会場: 食道楽のカフェ横芝生広場
時間: 10:00~15:00
- 鏡割り
開催日: 1月1日(水・祝)
会場: 食道楽のカフェ横芝生広場
時間: 12:00~
協賛: 東洋白糧酒造株式会社
- 餅つき
縁起物といわれるお餅をついて、新年をめでたくお祝いしましょう。
開催日: 1月2日(金)、3日(土)
会場: 食道楽のカフェ横芝生広場
時間: 13:00~ ※本館の餅つきは、各日先着200名様限定
- 書き初め道場
先生が丁寧に書の手ほどきをいたします。書き初めの宿題がある皆さん、
集合! 大人の方も大歓迎!
開催日: 1月2日(金)、3日(土)
会場: 三重県庁舎「彩の閣」
時間: 12:00~15:00
料金: 半紙5枚100円 ※半紙持込みの方は無料(お一人5枚まで)
- 「明治村けん玉教室」by日本けん玉協会
①社)日本けん玉協会の認定員によるパフォーマンスとけん玉教室を開催!
練習後には二大会を行います。優勝者には明治村オリジナルけん玉をプレゼント!
開催日: 1月18日(日)
会場: 奥庭
時間: ①12:00~②14:00~
定員: 各回20名 ※事前電話予約 TEL: 0568-67-0314

12月13日(土)~平成27年2月22日(日)

※休刊日カレンダーをご覧ください。

みっけるもん! さがすもん!

~明治の文様いろいろあるもん~

建物や展示品に装飾されているさまざまな「文様」を、写真やヒントを手がかりに探
し出そう。見事クリアした方には、オリジナルの景品をプレゼント!

- 期間: 12月13日(土)~平成27年2月22日(日)
- 受付: 近衛岡本御付蔵舎、帝國ホテル中央玄関
- 時間: 10:30~15:30
- 料金: 全1種類300円 ※全7種類

HAPPY! クリスマス

(会場: 聖ザビエル天主堂)

- キャンドルサービス
通常では入ることのできない特別な聖壇内で、
キャンドルに想いを込めてみませんか?
開催日: 12月13日(土)~平成27年2月22日(日)
時間: ①10:30~12:00 ②13:00~15:00
料金: 1回300円
- ハンドベルコンサート
「天使の歌声」と呼ばれるハンドベルの音色をご堪能ください。
開催日: 12月20日(土)
時間: ①13:00~②14:30~
出演: 金城学院中学校ハンドベルクワイア
- クリスマスマサ
あなたの大切な人と素敵な「とき」をお過ごしいただけます。
開催日: 12月23日(火・祝)
時間: 11:00~
- クリスマスコンサート
開催日: 12月23日(火・祝) 12月24日(水)
時間: ①13:00~②14:30~ 時間: 13:00~
出演: コンプリオ 出演: 藤澤はなの樹幼稚園

HAPPY! バレンタイン

ペアアイテムで入材料半額!

期間中、お揃いの色でお揃いのアイテムをご持参のカップルは入材料半額!
入料窓口にて、ペアアイテムをご提示ください。
開催日: 1月31日(土)~2月15日(日)

バレンタインコンサート

- 開催日: 2月7日(土)、8日(日) 2月11日(水・祝) 2月14日(土)
- 時間: ①13:00~②14:30~ 時間: ①13:00~②14:30~ 時間: ①13:00~②14:30~
- 出演: 新宮美奈(ソプラノ)ほか 出演: 名古屋芸術大学 出演: 名古屋音楽大学

地元酒蔵集結! SAKEフェス

- 日本酒 試飲
10の地元酒蔵の新清しほりたてを含めた日本酒を試飲していただけます。
開催日: 1月1日(水・祝)~25日(日)の土日祝
会場: 菊の世酒蔵ほか
時間: 11:00~15:30
- 日本酒がもっと楽しくなる3日間
あなたは味分けられるかな? 正解者には酒蔵ロゴ入りのお酒をプレゼント
(各日先着50名)
さらに! 発着場のお酒を特別価格にて販売! (11:00~15:30)
1月10日(土)~12日(月・祝)
会場: 菊の世酒蔵
時間: 甘酒振る舞い: 12:00~ ※先着100名様限定
さきSAKEイベント: 13:00~14:00

特別展示

明治村開村50周年記念「木内真太郎 ステンドグラス歴史展」

- 期 間: 12月13日(土)~平成27年2月22日(日)
- 会 場: 聖ザビエル天主堂 ※詳細はP26をご覧ください。

ワークショップ

ガラス工芸が盛んな瀬戸で活動するステンドグラス作家がわかり
やすく指導いたします。自分だけのペンダントを作ってみませんか?

- 開催日: 1月25日(日)、2月15日(日)
- 会場: 聖ザビエル天主堂
- 受付: 10:30~14:30 ※体験券に随時受付
- 料金: 一回1,500円(所要約1時間)
- 講師: ステンドグラス月光堂 ※人数を超過させていただきます。

しめ縄作り体験

お正月に玄関などに飾る「しめ縄」を手作りしてみませんか?

- 開催日: 12月13日(土)
- 会場: 近衛岡本御付蔵舎
- 時間: 13:00~15:00
- 料金: 500円
- 定員: 15名 ※事前電話予約 TEL: 0568-67-0314

A La Meiji-mura



写真3 ライプツィヒ市庁舎 (絵巻画) 明治村蔵

ゼツエーションはアール・ヌーヴォーに
続いて起きた芸術運動です。アール・ヌー
ヴォー(ドイツでは「ユークゲント・シエテ
イル」と呼ばれる)は一八九〇年代から
ヨーロッパで流行した芸術運動であり、

モチーフに女性や虫、植物など
有機的な素材を用いて曲線を多
用するデザインが特徴です。美
術工芸品から建築・インテリア
まで幅広い分野でその影響が見
られますが、建築においてアー
ル・ヌーヴォーは比較的規念でし
た。一九〇〇年以降になると、
より単純な形態や抑制された装
飾へと派生し、ゼツエーション
という機能的や合理性を重視
し、平坦でリスミカルな幾何学
的装飾を生み出す運動へと繋が
ります。

現在、北里研究所の設計者は
残念ながらわかっていません
が、北里の思いつの地・ドイツ
の当時最先端のデザインを取り
入れるという進取の気性に富ん
だ人物であったことが想像され
ます。明治村にお越しの際に
は、北里研究所本館・医学館に
残されたドイツの面影をご覧
下さい。

参考文献

- ・建築用語辞典編集委員会編「建築用語辞典」(技報堂出版、一九六五年)
- ・藤田正夫「北里三郎先生のころ(八)―コッホ研究所―」(『日本医事新報』一
九二〇年一月、一九七九年)
- ・三宅理「ドイツ建築史、下―建築各論―」(相模書房、一九八一年)
- ・ダン・クリエック著「ドイツ建築史、飯田真由紀訳『フレッチャード建築世界建築の歴史大
事典―建築・美術・デザインの多面』(西村書店、一九九六年)
- ・(生誕)一五〇年記念「北里三郎」(社団法人北里研究所、二〇〇三年)

ドイツの面影

●北里研究所本館・医学館(3丁目25番地)



三丁目二十五番地の「北里研究所本館・
医学館」は、北里三郎が東京の白金(現・
港区)に、大正四(一九一五)年に建て
た研究所です。昨今、テレビドラマや映



写真1 北里研究所本館・医学館クロウ・ステップ

「Crown Steep」(「冠高」)を配したのが特
徴です。これらは、北里がかつて研究に
励み、世界的な研究者へと成長した場所。
ドイツの建築や当時流行していたデザイ
ンの影響が見られます。

北里研究所本館・医学館の外観は、か
ねてより一九〇〇年に完成したドイツ
の国立伝染病研究所との類似が指摘され
ていました(写真2)。北里は明治二十四
(一八九一)年にドイツ留學から帰国して
いるため、実際に北里がこの建物を見た
ということは考えにくいのですが、北里
が師事したローベルト・コッホ (Robert
Koch) が所長であることから
「通称「コッホ研究所」と
呼ばれていたこの研究所の
情報を、北里が何らかの形
で手に入れていたことは想
像できます。この二つの建
物の共通点として挙げられ
るのが、クロウ・ステップ
と同じです。「ゴビー・ス
テップ (Göbber steps)」と
も呼ばれるこの装飾は、日
本語に訳すと「カラスの階
段」となります。ベルギー
西部からフランス北端にか
けてのフランドル地方、オ



写真2 1900年に完成したドイツの国立伝染病研究所
(正面中央部分にクロウ・ステップが見受けられる)

ランダ、北ドイツ、イングランド東部な
ど北海沿岸地域の民家に見られる様式で
す。なぜ、このような特徴が、コッホ研
究所や北里研究所の建物に取り入れられ
たのでしょうか？

十九世紀後半のドイツは大きな転換期
を迎えます。それまで小国の集合体で
あったドイツ連邦のうち、ビスマルク率
いるプロイセンがドイツの統一を目指し、
一八七〇年からフランスとの間で開戦し
た普仏戦争に勝利を取り、翌年ドイツ帝
国として統一しました。帝国としての威
厳を知らしめるべく、ベルリンの街には
絶対王政時代の十七世紀フランスを思わ
せるパロック建築を模した壮大な公共建
築が並びます。また同時にドイツとして

のナシヨナリズムを高揚させる、民族的
なものやドイツ固有と考えられる伝統的
な様式を持った建造物も建てられます。

ゲオルグ・フォン・ハウベリッサー
(Georg von Houbertus) によるミュン
ヘン市庁舎(一八六五―一八六六)やフー
ギー・リヒト (Hugo Licht) のライプツィ
ヒ市庁舎(一八九六―一八九七)写真は、
そうしたドイツ建築らしさを表現しよう
とした例です。ライプツィヒ市庁舎には
建物の内側切妻部分と正面にいくつもの
クロウ・ステップを配しています。

こうした当時のドイツの建築界の潮流
がコッホ研究所の外観にも見られ、北里
研究所に受け継がれたと考えられます。

改めて北里研究所のクロウ・ステップ
をみてみると、北里研究所の段差部分に
は四分割した円の上に、へ首記号を嵌め
せたような装飾が左右対称に付していま
す。この装飾には、ヨーロッパで流行し
たゼツエーションの影響を見ることがで

図1 クロウ・ステップ
(『建築用語辞典』(技報堂出版、1965年)より)